



Change! 2022 ニュース

No. 1

Change! 2022 推進委員会 2019. 7. 15 発行

▼ Change! 2022 会員増強運動 本格始動

Change! 2022 推進委員会

委員長 栗本治郎(熱海)

東日本区は下記の数字が示すように、皆様の努力にも拘わらず、会員数の減少に歯止めがかからず2018年には860名となり、このままの傾向が続きますと近い将来、東日本区ワイズの存続の危機さえ論じられる状況になっております。

国際協会におきましても同様な会員減少傾向(2010年の約30,000名から2018年の約24,000名へ)が続いており、2010年に作成された“Towards 2022”をてこ入れすべく“Challenge 22”を作成し、様々な提案を行っております。まさに会員増強は世界の全ワイズの喫緊の課題です。

東日本区では、前期スタート直後より宮内友弥理事の指導の下、EMC 事業委員会と文献・組織検討委員会の EMC 小委員会とが検討を重ね、『(仮称)会員増強推進委員会』を組織し、クラブ向けアンケート、全会員向けアンケートを実施し、ワイズの現状把握と皆さまから多くのご意見を頂きました。

また、アンケートの中でこの運動のネーミングを募集しましたところ、石巻広域クラブの清水弘一さ

ん応募の“Change! 2022”に決定致しました。

2019年新年度より“Change! 2022 推進委員会”として、ワイズ創立100周年となる2022年をゴールとする会員増強運動を進めることになりました。

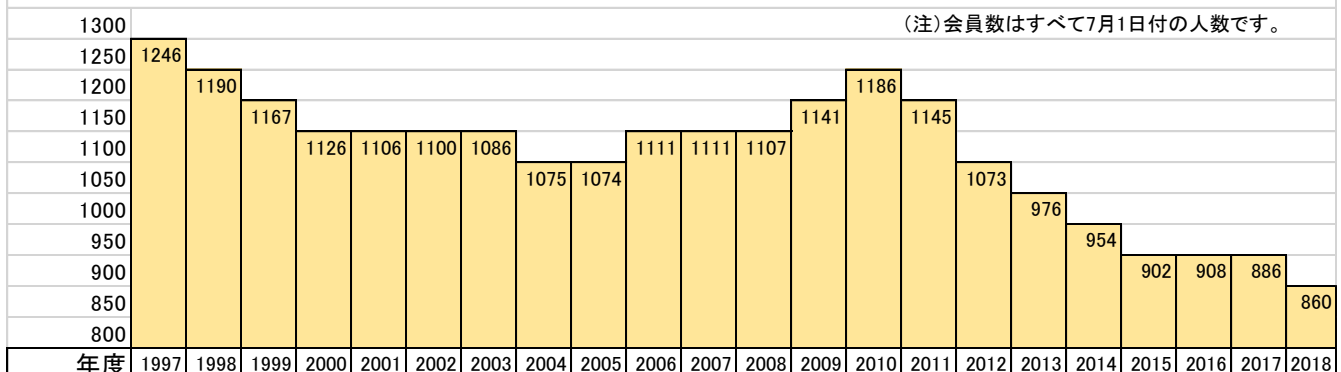
皆様のクラブ・部のお世話をしたり、提案をしたりして時には一歩先を、時には一歩後を歩き、共に歩きながら2022年には同委員会の設定した目標の**1246名**(1997年東日本区発足時の会員数)を達成することを願っております。

さあ、全員でかかりましょう！ 会員増強へ！

» Change! 2022 事業計画の概要 «

- ・5人以上の新クラブ設立の奨励。
- ・SNS・広告の活用によるワイズ活動の情報発信 → ワイズの知名度アップによる新会員の獲得。
- ・部エクステンション委員会の新クラブ作りの支援。
新クラブ設立のためのパンフレットの作成、国際協会への手続き支援(申請書類の準備)。
- ・会員増強に必要と思われる事柄(Change! 2022 シンポジウムの開催等)。
- ・Change! 2022 ニュースの発行によるEMC意識の向上。

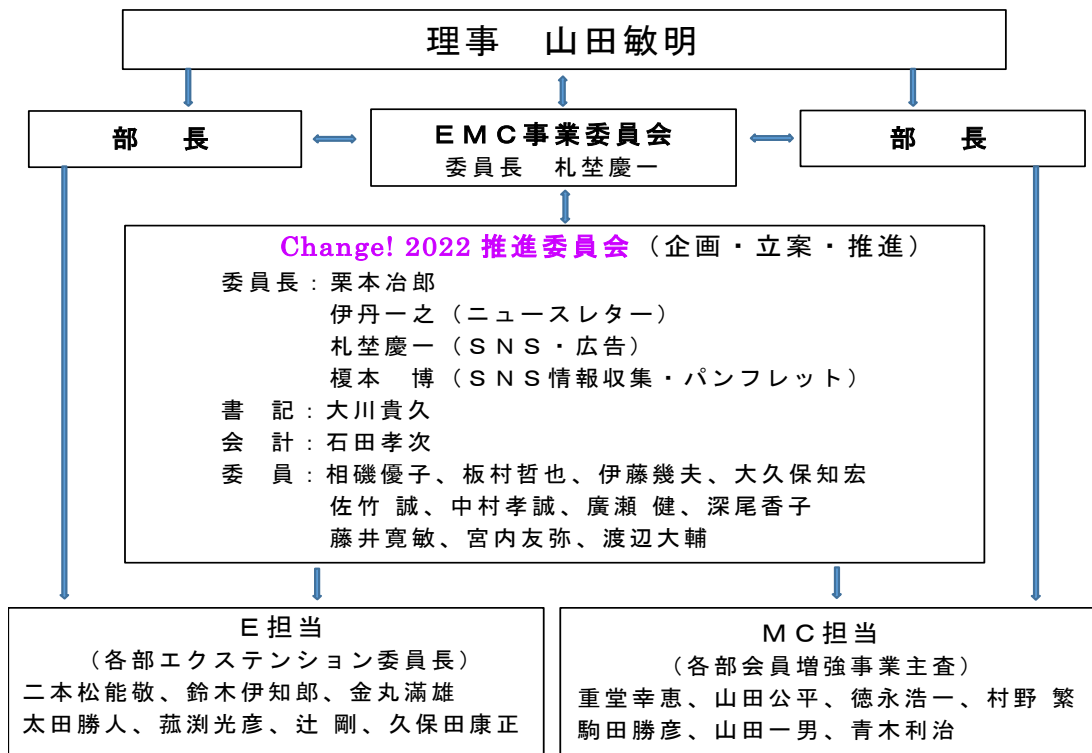
東日本区の会員数推移



各部の会員数推移	2000P																					
北海道部	63	62	59	55	55	50	47	47	47	46	46	47	55	54	56	56	52	48	50	50	51	48
北東部	179	165	154	155	144	129	126	124	123	120	134	135	135	135	137	139	132	131	125	137	138	138
関東東部	195	187	193	186	181	178	173	158	157	170	172	165	160	155	137	133	126	121	136	134	131	132
東新部	179	171	165	151	148	154	153	134	139	158	160	150	174	160	153	139	136	126	99	90	90	82
あずさ部	209	202	201	195	197	208	223	235	229	229	228	223	219	212	217	199	184	182	182	183	174	175
湘南・沖縄部	85	83	80	79	81	83	79	80	97	121	109	112	122	199	192	185	139	142	118	124	115	102
富士山部	336	320	315	305	300	298	285	297	282	267	262	275	276	271	253	222	207	204	192	190	187	183

特別委員会 Change! 2022 推進委員会

2019年7月1日現在



▼ Change! 2022 への道筋

Change! 2022 ニュース編集長

伊丹一之（東京むかで）

2018年11月10日に行われた宮内友弥理事年度の第2回東日本区役員会において、伊丹一之会員増強事業主任が提案者となる第4号議案『2022年をゴールとする中期会員増強運動』を推進することが承認されました。

この議案の中には、「運動の名称を会員から公募する」との項目があり、2019年3月にクラブ会長向けアンケート内に、また、4月には全会員向けアンケート内に、名称募集の応募欄を設けました。

そして5月24日に行われた（仮）会員増強推進委員会において、68件の応募の中から選考が行われました。最終審査に残ったのは次の8点でした。

- ①ダイナミックYs 2022 ②ワイズ百年 再興元年
- ③EMCプロジェクト2022 ④Expand 2022
- ⑤SDYs 2022 ⑥Change! 2022
- ⑦スタートアップ PROJECT ⑧プロジェクトY

この中から最終選考を行い、“**Change! 2022**”をプロジェクト名とすることに決定しました。

名付け親は石巻広域クラブの清水弘一さんで、第

22回東日本区大会においてEMC特別賞「2022年をゴールとする中期会員増強運動・ネーミング賞」と区大会登録費の副賞が贈られました。



【東日本区大会で表彰を受ける清水弘一さん】

受賞された清水弘一さんのことば。『正直のところびっくり玉手箱の心境で、「日本区6000プロジェクト」や「東日本区2000プロジェクト」に関係したものとして“むずがゆい”気分でもっと若い人に命名していただきたかったのが本音です。

「東日本区2000プロジェクト」がスタートする

ときは、1997年の東日本区スタートから10年、会員数は1246人から1111名、10名未満のクラブは1クラブから12クラブ、15名未満のクラブは12クラブから31クラブ、平均年齢は54歳から61歳に、このままでは自然消滅の危機感がありました。



『このプロジェクトは、不幸な事件を契機に途中で頓挫した形になりましたが、「2022年をターゲットとする中期会員増強運動」では、ワイズメン全員が危機感をもって、あらゆる面で意識を変えるしかないと考え、あのようなネーミングが浮かびました。』 【写真上=宮内友弥理事と清水弘一さん】

このプロジェクトは、不幸な事件を契機に途中で頓挫した形になりましたが、「2022年をターゲットとする中期会員増強運動」では、ワイズメン全員が危機感をもって、あらゆる面で意識を変える

▼ 横浜つるみクラブ・チャーターナイト

湘南・沖縄部エクステンション委員長

辻 剛(横浜つづき)

“ 9年振り・9番目・9人 ”

&

“ 令和初・世界初・東日本区初 ”

横浜つるみワイズメンズクラブ誕生！！

1. 湘南・沖縄部に、9年ぶりに、9番目のクラブ、横浜つるみワイズメンズクラブが9人のメンバーで誕生しました。

6月16日(日)16:00~18:30 横浜市鶴見地域ケアプラザにおいて、93名の皆様が参加してくださり、チャーターナイトが無事挙行されました。

田中博之・アジア太平洋地域会長、宮内友弥・東日本区理事、工藤誠一・横浜 YMCA 理事長、田口努・横浜 YMCA 総主事(代読)、伊丹一之・会員増強事業主任の皆様からお祝辞をいただきました。

入会式、認証状伝達式は厳かに行われ、全員力強く宣誓し、久保勝昭会長以下9人の新メンバーは9人の理事、元理事からそれぞれチャーターバッジを装着していただきました。

祝会では、山田敏明・次期理事および栗本治郎・直前理事からお祝辞をいただき、豪華な中華弁当と久保会長以下横浜つるみクラブのメンバーによる歌声広場で鍛えたお得意の歌、演奏があり、最後は出席者全員で「翼をください」を大合唱してお開きとな

りました。これからも歌をガソリンにして、ワイズ街道を爆走して欲しいと期待しています。



【チャーターバッジを装着した横浜つるみメンバー】

2. 横浜つるみクラブの誕生は東日本区では令和“初”の記念すべきことですし、9人でのスタートも東日本区史上“初”の最少人数です。さらに部がスポンサーになったこともおそらく世界“初”だと思えます。

しかし、初物尽くしのクラブ誕生に見えますが、新旧様々な要素が入り混じっていたと思います。それらをキーワードで列記してみます。

(1) 基本キーワード

候補者集め(キーパーソンの確保/情熱・人脈)、横浜 YMCA との協働(各拠点で)、オリエンテーションの実施(計3回/ワイズ、YMCA、定款とは?)、横浜つづきクラブとの合同例会(2回)、国際への申請書類作成(早期の取り組み)。

(2) その他のキーワード

趣味仲間型(歌声広場で候補者ゲット)、地縁型(全員地元在住)、奉仕志向型(活動経験者豊富)、鶴見・生麦ケアプラザへ団体登録(拠点作り)、全て合同開催(エクステンション委員会と準備委員会・準備例会・仮例会)、部がスポンサー(物心双方の支援)、9人でチャーター決意(小さく産む)、旺盛な好奇心の持ち主多い(複数の候補者が横浜 YMCA 会員大会、東日本区大会、アジア大会への参加)。

(3) 今後に向けたキーワード

更なる会員増強(大きく育つ)、ファンドレイジングへの取り組み、部のフォロー(継続的支援の実行)。

9羽の鶴はなんとか飛び立ちました。これから大きく育つことができるよう皆さまで大きく羽ばたける翼をあげてください。

▼ 各クラブの「フェイスブック」を作成

会員増強事業主任

札埜慶一（熱海）

フェイスブック等 SNS を東日本区で作成し
各クラブの活動を外側に発信！

実名の「フェイスブック」を 61 クラブ分すべて東日本区で作成し、相互リンクを行います。

各クラブの「フェイスブック」は東日本区トップページに相互リンクし、ワイズの外側に情報発信！

内向きの Y's だけでなく外向けのワイズへ

と変革し、会員増強に繋がります。

◎ 皆様からデータとして提出して欲しいもの

(以下の 5 点をメール添付で)

1. トップページ写真(集合写真、イメージ写真などクラブが目立つもの)
2. クラブの会員募集要項文書
3. クラブの活動内容、プリテン等
4. 各クラブの担当者名(クラブ名、担当者氏名、携帯番号、メールアドレス、PC 歴)
5. フェイスブックが既にある場合、その URL を記載願います。

文書の長さ、写真枚数など特に制限はありません。文章は word 形式、画像は jpg 形式。

印刷物は不可。提出されるデータは「個人情報保護法」に基づいてご提出ください。

ワイズ関係者以外の身バレする写真はご本人の了承を得てください。

参考 URL

<https://www.facebook.com/atamiys/>

<https://www.facebook.com/groups/352125885529713/?fref=nf>

- ・「フェイスブック」初期作成費は東日本区で負担します。
- ・データは各部部长が各クラブから収集、上記 1~5 まで内容確認され、7 月末までにメール添付で榎本博委員 ascot@purple.plala.or.jp までご送信ください。
- ・べ切以降は随時お受付となりますが、できるだけ早期の送信をお願いいたします。作成は先着順に渡辺大輔委員が行います。その後の管理、保守、更新、初期広告各クラブで行うか、有料でも検

討し、相互リンクは各クラブから各自自治体などにもお願いしてください。

SNS は自クラブで作成するのがベストです。

- ・東日本区の現会員増強事業委員会関係者は、私を含めて 2022 年まで「Change! 2022」のスタッフとして留まり、微力ながら皆様を支援させていただきます。
- ・ご質問があればご遠慮なく…… fudano@xbb.jp 又は 090-3157-1039 会員増強事業主任 札埜慶一（フダノ ケイイチ）まで。

▼ 新年度早々に続々入会式

会員増強事業主任

札埜慶一（熱海）

2019 年 7 月 2 日、甲府 21 ワイズメンズクラブのキックオフ例会、並びに入会式に、板村哲也次期理事、栗本治郎 change! 2022 委員長、大川貴久同書記と共に参加。無事新年度、東日本区会員増強事業主任として初仕事を果たさせていただきました。

甲府 21 クラブは、YMCA との相互互換関係が活発で大変元気の良いクラブ。7 月 2 日現在、2 名の入会者・山本俊一さん【写真下左】、野々垣和宏さん【写真下右】を加えて 34 名のスタートとなりました。



その後、2 次会会場で入会候補者が数名招待されている中で、2

名が入会希望に手を上げられ入会確定となりました。昨年度 EMC の MC 部門最優秀賞クラブはさすがに活気があり、現在の目標は 40 名ということですが、オンリーワンワイズとして 100 名を目指す大変頼もしい限りのクラブで、来年には 30 周年を迎えます。野々垣健五直前会長が核となり、目を行き届かせているのが印象的でした。

7 月 8 日には、伊東市において伊東クラブと下田クラブの合同初例会が開催され、下田クラブに土屋健治さん【写真下】が入会されました。



7 月 16 日には御殿場クラブで 4 名入会予定。同じく 16 日に三島クラブでも 1 名入会予定です。クラブに入会者があるときには、お知らせください。